

スケートリンクのご利用について

笠松アイススケート体験事業において、スケートリンクを団体利用される際には下記事項にご留意ください。

1 服装について

- ・ 長そで・長ズボンの動きやすいものにしてください。ハーフパンツや7分丈のズボンなど肌を露出した服装やミニスカートやストッキング等では、危険回避のため滑走できません。
(適：学校指定の体操着)
- ・ 靴下はくるぶしが隠れるものでお願いします。(短い靴下は靴ずれを起こすため)

2 持参するもの

- ・ 手袋(軍手でよい) ※第2関節までの手袋やミトンは、安全を考慮して禁止しております。
- ・ ひじ当て、ひざ当て(任意)
- ・ 汗ふきタオル
- ・ 着替え
- ・ 飲み物 など

3 諸注意

- ・ 体験事業の当日に引率される方が体験日2週間前までに打ち合わせにお越しください。
(打ち合わせの日に限り、下見を兼ねた体験滑走ができます。 ※4人まで無料)
- ・ アイススケートの指導者を希望する場合は、1人につき2時間で税抜後5,000円程度の謝金が必要となります。なお、領収書が必要な場合は、各学校でご用意ください。また、謝金は指導者ごとにご用意の上、学校側から指導者に直接お支払いください。事務所での両替はできません。
指導者は、スケート靴の装着、体操及びリンク上の指導を行います。
- ・ 整列する際には靴サイズの大きい順に並んで待機し、貸靴カウンターへ進んでください。
- ・ けが防止のため、必ずヘルメット着用でお願いします。先生方や保護者の方も含めリンクに上がる方全員の着用をお願いいたします。着用しない場合はご利用できません。
- ・ ヘルメットのサイズは、S(青) M(黄) L(黒)となります。
- ・ 貸靴カウンターでの靴受け渡しは、幼稚園児、小学校低学年の場合、先生または保護者のお手伝いをお願いします。
- ・ 見学する先生・保護者・園児・児童・生徒は、リンクサイドまたは2Fエントランスから観客席へ入場して見学してください。
- ・ 氷上での写真撮影は禁止です。(転倒した際にレンズが割れる可能性があるため)
- ・ 万一怪我をした場合、当職員に直ちにご連絡ください。応急処置をいたしますが、一切責任は負いません。また、救急車の手配が必要になった場合にも当職員にご連絡ください。
- ・ 滑走後に昼食を取る団体は、観客席等で取ることができます。ゴミはお持ち帰りいただきます。
- ・ お帰りの際は、リンクサイド、控室の忘れ物やゴミの有無の確認をお願いします。
- ・ 更衣室のロッカーは使用できません。

4 その他

- ・ スケート靴の装着には時間がかかりますので、お時間に余裕を持った計画を立ててください。
- ・ 滑走開始時間の30分前から控室への入場ができます。

